

令和6年度 板橋区立高島第二中学校 学校経営方針・経営計画

校長 小泉 良太

1 教育目標

◎教育目標 持続可能な社会の創り手となる人間の育成をめざす

- 自ら考え判断し 主体的に行動する
- 社会の一員として自覚し すすんで貢献する
- 自他を尊重し 多様性を理解する
- よりよい社会をめざし 新たな考えを創造する

【校訓】 進化する伝統「自立・創造」

- ・本校を選択した生徒・保護者が入学してよかったと思える学校をつくる。
- ・東京都ならびに板橋区の教育目標等と教育の今日的課題に対して積極的に対応し、保護者・地域と協力して教育課題を解決する。

2 めざす学校像

- (1) 生徒が生き生きと学ぶ学校
- (2) 保護者・地域から信頼される学校
- (3) 教職員が一丸となって力を発揮できる学校

3 めざす生徒像（高二中の教育目標）

人間尊重の精神に基づき、生涯にわたって心身ともに健康で、知性と感性に富み、信頼と尊敬の得られる、持続可能な社会の創り手となる、生徒の育成に努める。

- (1) 自ら考え判断し 主体的に行動する
- (2) 社会の一員として自覚し すすんで貢献する
- (3) 自他を尊重し 多様性を理解する
- (4) よりよい社会をめざし 新たな考えを創造する

4 めざす教職員像

- (1) 生徒とともに喜びを感じることでできる教職員
- (2) 使命感をもち、信頼される言動がとれる教職員
- (3) 日々の実践と研修を行い、自らを向上させる教職員

5 学校経営計画の基本方針

(1) 確かな学力の向上（重点目標）

①学習指導の充実を図り学び変え続ける力を育成する（中期経営目標）

- ・「何ができるようになるのか」、そのために「何を学ぶか」「どのように学ぶか」を意識した授業方法を工夫し、個別最適化を視野に入れた授業を実践する
- ・GIGA スクール構想に則った ICT の活用や生徒用タブレットPCの活用
- ・言語活動を取り入れた授業
- ・体験的学習を取り入れた授業
- ・習熟度別授業やTTなど小集団活動を活用し、基礎・基本を重視した授業を行うとともに、放課後の補充学習の充実や英語検定・漢字検定により、学力の向上を図る
- ・「プレゼンテーション能力向上」を目標とし、社会に出る上で重視されるコミュニケーション能力の育成を図る。
- ・家庭と連携し、家庭学習を充実させる。

(2) 豊かな人間性の育成（重点目標）

① 教育相談を充実する（中期経営目標）

- ・特別支援校内委員会や生活指導部を中心に全教師で情報の交換を密に行う
- ・個別の相談をとおして保護者や諸機関との連携を深め課題解決を図る
- ・スクールカウンセラー及びs s w、巡回心理士などと連携を図り、情報を密にし、生徒一人一人にあった対応を行う
- ・Hyper Q-Uテストを活用し、いじめのない友との関わりを大切にする学級経営を行う

② 特別支援教育の理解と充実を図る（中期経営目標）

- ・障害者差別解消法に基づき、合理的配慮を的確に行う
- ・特別支援教育コーディネーターを中心に特別支援校内委員会を充実させ、通常級における特別な支援が必要な生徒への適切な指導や配慮を充実させる
- ・ユニバーサルデザインの視点（わかりやすい教室環境、わかりやすい授業）充実を図る

③ 人間尊重の精神に基づく学校経営を行う（中期経営目標）

- ・道徳、特別活動等をとおして、いじめのない思いやりのある生徒を育てる
- ・校舎内外の美化活動を積極的に推進し、ボランティア活動への参加を奨励する
- ・学校行事等の指導を通し、生徒の達成感を高めるとともに、部活動を含めた諸活動の活躍を認め自尊感情を育てる

④ きめ細かな生徒指導を行う（中期経営目標）

- ・面談やアンケートを通して問題行動の早期発見に努め、問題解決に速やかに当たる
- ・意識的に生徒と接し、生徒一人一人の理解を深め指導に生かす
- ・体罰によらない指導を行い、生徒に分かる指導を徹底する
- ・社会的ルールを身につけ規律ある生活を送れる指導を行う

(3) 教員の指導力向上（重点目標）

① 次世代のリーダーの育成（中期経営目標）

- ・ミドルリーダーを育成し、組織間の連絡・調整を図り組織の活性化を図る
- ・各主幹、主任を中心に互いに改善案を出し合い、よりよい教員集団を作る

(4) 健康教育の増進を図る（重点目標）

① たくましい心と体を鍛える（中期経営目標）

- ・体力テストの結果を基に、体力の向上を目指した保健体育の授業、学校体育活動等の方法を工夫していく
- ・生涯にわたり健康で安全な生活を送るため、健康指導や食育の推進を図る

(5) 保護者・地域との連携を深める（重点目標）

① 生徒の安全を第一に考えた指導の充実を図る（中期経営目標）

- ・安全教育を充実させ、自ら危険を予測し回避する能力・他者や社会の安全に貢献できる能力を育成する
- ・生徒に防災訓練などに参加させ、自助、共助、公助という防災対策の基本を身に付けさせる
- ・保護者と連携し緊急対応時の連絡方法や確認を徹底し生徒の身の安全を確保する
- ・安全指導の3領域「生活安全」、「交通安全」、「災害安全」を系統的・計画的に推進する

② 保護者・地域社会と信頼関係を深める（中期経営目標）

- ・小中一貫教育を推進する
- ・iCSを活用や、地域の人的資源の導入により、地域と連携した教育の推進を図る

6 その他

(1) サービスの厳正

(2) 働く環境を整える

(3) 感染症対策